

# 人権作文40点入賞

中学生コンテスト県大会

表彰式で松原さん親子講演

第37回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会(神戸地方事務局、県人権擁護委員連合会、神戸新聞社主催)の入賞作品40点が発表された。

今回は県内318校から9万6402点の応募があり、審査の結果、最優秀賞



5点、優秀賞10点、審査員特別賞3点、奨励賞22点が選ばれた。

最優秀作は全国大会に出品され、12月の人権週間に合わせて、神戸新聞紙上に全文が掲載される。

表彰式は12月9日午後1時から、神戸市中央区東川崎町1、神戸クリスタルタワー3階のクリスタルホールである。NPO法人関西ブラジル人コミュニティ理事長の松原マリナさん(写

真)と、実の娘で龍谷大学大学院生の松原ルマさんが「外国にルーツをもつ子ども達と日本社会」の演題で多文化共生について講演を行う。参加自由。神戸地方事務局人権擁護課078・3092・1821

入賞者は次の通り。(敬称略、数字は学年)

- 【最優秀賞】「みんなと二階に高校生になる天原隼乃(神戸市立垂水東3)▽「それでも僕はがんばる」(芦屋市立西宮南台2)▽「本当に大切なのは中島美代(宝塚市立御殿山2)▽「広げた友情の輪を」(小林向日養(県立姫路聴覚特別支援校)▽「私の弟三毛利心(淡路市立岩屋1)
- 【優秀賞】「みんなのヒーロー」(森田希花(尼崎市立水田3)▽「大切なこと」(西田真哉(同市立南武庫之荘3)▽「身近な人達から考える国際理解」(手慎知(同))
- 【視点】(金川大智(丹波市立春日2)▽「風雨降れば男女共同の第一歩」(南陽(姫路市立城崎2)▽「今を生きる」ということ」(小西柚衣(加古川市立中野3)▽「介護と人権」(原智史(同市立別府2)▽「ハッピーであっていいこと」(大西光(加西市立北条3)▽「強さ、優しい心」(小林紫奈(新温泉町立浜坂1)
- 【審査員特別賞】「忘れられな

- いあの笑顔」(神代陽菜(明石市立豊住2)▽「僕らのハリケーン」(井上美(丹波市立春日3)▽「みんな違っていいじゃない」(木澤ひかる(豊砂市立竜山3)
- 【奨励賞】「祖母と私」(西川天音(神戸市立嘉陵台1)▽「支援の輪」(内田雅貴(同市立高宮2)▽「北山八間」(から学んたて(米田崇徳(西宮市立西宮南3)▽「祖母と共に生きる」ということ」(奥井丹里羽(県立高尾原中等教育学校)▽「入るそれの成長」(谷岡百花(芦川市立大付付属3)▽「私に出来ること」(山口優(三田市立萩間1)▽「間違っただけじ」(千原日(宝塚市立中山五月台3)▽「私とみんな違う所」(山根宙(伊丹市立北1)▽「繋がり」(三谷愛香(三木市立自由が丘3)▽「アドベンション」(大切さ(谷美里(明石市立錦城1)▽「私の悩み」(鈴木リセア(同市立相原3)▽「バス停での優しい出来事」(増田千佳(神戸町立神河2)▽「幼児健について」(小川綾香(加古川市立藤南2)▽「介護とは」(高野未純(兵庫教育大学付属3)▽「一層の壁を越え」(松尾心愛(加西市立泉3)▽「横山葵」(赤穂市立赤穂西1)▽「うわさ」(岩崎わかば(小堀ひなた(安曇市立一宮北3)▽「故郷」とは何か考えてみた」(岸本小宮(同市立淡路3)▽「「常」(常識)って何だろう」(橋本希聖(同市立豊岡北3)▽「共生社会を実現するために」(安田麗子(香美町立善住第一3)▽「私のおばあちゃん」(中村彩乃(南あわじ市立西淡2)▽「命と平和を守るために」(観谷真央(洲本市立洲原2)